

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等児童デイサービス えびす		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 9日		～ 令和7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 9日		～ 令和7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりの「らしさ」を念頭に発達段階に合わせ、職員間の共通理解を図るとともに、全職員一貫した支援を行い、一人ひとりの成長のスピードに合わせ、課題を克服できるように支援を行っている。	・個人面談や担当者にて、知り得た情報の中から、そのご家族の子育てにおいて大切にされていることを踏まえて支援を行っている。また、利用時の様子を翌日ミーティングをしたり、月に一回の全体でのミーティングを行ったりして、細かい支援の方向性を組み立て、職員全員の共通理解のもと支援を行うようにしている。	・日々の子どもたちの様子を連絡帳や送迎時に保護者にお伝えし、情報共有を強化していく。また、関係機関と連携を取り、支援を行う。 ・子どもたちからの発信を見逃さないよう、どんな小さな発見・気付きも大切にキャッチしながら、こどもの興味関心、成長に応じて可能性を広げていく。
2	・保護者や関係機関との連携体制があり、安心してご利用頂けている。	・行政機関や相談支援事業所との情報共有を行い、子ども一人ひとりのニーズを把握し、共同で支援できるようにしている。	・引き続き、関係機関と連絡をとり情報共有を行っていく。また、保護者の相談にその都度対応できるよう、職員間で話し合い共通理解して支援体制を整えていく。
3	・同じ施設内に高齢者施設があり、高齢者の方々との交流を企画し、関わる機会を持つことができる	・年中行事を通して交流の場がもてるよう、企画している。	・リスクの高い高齢者との交流になるので、感染症対策を十分に行った上で、交流の機会を増やし深めていく。 ※イベント・・・春：お花見、夏：夏祭り、秋：ハロウィン、冬：クリスマス会

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流機会の少なさ	・保護者会等もないため、保護者同士が顔を合わせる機会がほとんどない。	・長期休みを利用し、保護者も参加できるようなイベントを計画していく。
2	・ご家族に対するの家族支援プログラムや研修会、情報提供の少なさ	・地域のネットワーク（にじいろサロン）などを紹介したり、講演会・研修会の案内はチラシを配布しているが、浸透性がない様子。	・チラシだけでなく、SNSなどで情報を発信し、保護者の皆様に行き届くよう気を付けていく。
3			